



『進修』第一号表紙(右)と、『アカンサス』の意匠で飾られた旧本館玄関正面三連アーチの柱頭部(上)

Acanthus 第100号発刊を記念して

進修同窓会旧本館活用委員会(旧本館の利活用に関する業務を担当する)では、本紙を毎月発刊(8月を除く年11回)し、本校生徒・教職員に配付するとともに、旧本館公開時の参観者への配布等も行っています。

創刊は、平成20年3月の「新入生歓迎号」で、翌月の第1号に始まり、今回、第100号を迎えました。

これまでの歩みを踏まえ、その成果と今後への期待とについて考えます。
高15回 山田隆士(進修同窓会副会長、元土浦一高校長)

『アカンサス』の創刊

本紙は、平成20年度入学生(高63回)への歓迎の意を込めて、「本校の生い立ち」等について理解を深めていただくべく、平成20年3月に創刊されました。

「新入生諸君に、本校の長い歴史・伝統や旧本館(1905年創建、1976年国重要文化財指定)等に関心をもち、併せて母校への愛着や誇りを感じていただきたい」との想いから、本紙創刊に至ったと伺っています。

第100号までの歩み

裏面「主題」に掲げるように、平成20年4月に本格的にスタートした『アカンサス』は、「生徒諸君に、本校の長い歴史・伝統、そして旧本館への理解を深め、併せて母校愛を持っていただきたい」との、創刊号と同じ想いで、発刊に努めてまいりました。

最初の3年間は、高4回飯田哲也・上木幹夫、高5回飯村弘、高6回片岡博、高14回古徳尚一、そして旧職員小田潤が、旧本館や在校生・卒業生の動向等について述べ、平成23年度(第34号)以降は、飯村弘を中心に、高19回小泉明・竹井茂雄、高21回鴻巣茂・助川博夫・鈴木義人・松井泰寿、高33回久保田高広が、従来の方針を踏襲して、執筆や校閲に携わっておりま。その間、テーマに窮することも生起するようになり、平成25年5月発刊の第57号以降、「校歌」

の文言に係る内容を取り上げることとして、現在に至っています。

「沃野」・「筑波山」・「関八州」について考察し、次いで、第65号以降は、「霞ヶ浦」についての項になりました。「流海」・「四十八津」・「帆曳き船」に始まり、霞ヶ浦に纏わる歴史、特に海軍航空隊や戦時下の人々の様子、当時の土浦中学生・卒業生の動向等にも触れ、非常時下の人々の営みについての理解を深めてもらいたく、号を重ねて、第100号に至りました。

この間、卒業生の動向については、『進修』(1900年1月の第1号から1943年2月の第46号まで、ほぼ年1回の発刊になる土浦中学校の校友誌)』の記事を基にしましたが、それを裏付けるための作業も精緻を究めました。関連する著書・回想記録・新聞・雑誌等を収集することは勿論、その遺族への聞き取りのための訪問や図書館・博物館での調査、そして、関係地を訪ねる、等の様々な作業を展開してまいりました。かつて特攻隊基地のあった鹿兒島の鹿屋・知覧を訪ねたのも、卒業生・中33回片岡喜作(第84号から第88号まで。特攻隊長として沖縄名護湾で29歳で散華)について語るためでした。

なお、創刊号から第100号までの紙面は、進修同窓会ホームページに掲載してありますので、是非ご覧下さい。

その成果と今後への期待

9年間発刊を続けてきた『アカンサス』ですが、生徒からは、毎月の発刊を楽しみにしているとの声を聞くことが

しばしばであり、旧本館公開日(改修工事のため昨年夏から休止中)に生徒の参観も目立つようになっていました。

また、多くの生徒が、紙面を家庭に持ち帰っていると聞きます。これも母校愛の表れと感じるところです。紙面をご覧になった保護者からの感想等も耳にするところですが。

ただ、「最近では、戦争に係る記事が多い。」とのご意見も頂戴しています。しかし、これは戦争を是とするものではなく、あくまでも、非常時下に生きる人々、特に土浦中学生や卒業生の生き様を知ってもらおうのが狙いです。それは、戦後72年を経た今、当時の生活を体験した人達が僅かになり、いずれ居なくなってしまうからであり、様々な環境の中で、どのように生きるべきかを考える材料を提供していきたいとの想いからなのです。

そうした意味では、先に触れた生徒の動向を見るにつけ、所期の目的は達成できたものと自負しているところです。

「創立以来120年の母校に対しての愛着や誇りを持ち、生徒自身が自己を見つめるとともに、将来に関して真剣に考え、今を精一杯生きる」、そのような生徒であってほしいとの想いから、更に本紙の刊行を続けていってほしいと願っております。

なお、現在の本校においては、かつての『進修』のような、生徒の生の声を伝え残す場が無いことが惜しまれます。今後、そのような場を創る等の工夫が必要とも考えます。

A c a n t h u s 主 題

号	発刊	主 題	号	発刊	主 題
創刊号	20.03	合格通知書327名の諸君に	51	24.11	富山県農学校の見学
1	20.04	土浦分校の初年度経費¥3,889.02	52	24.12	霞ヶ浦舟運
2	20.05	高知や鹿児島からも土中へ	53	25.01	筑波の山のいや高く
3	20.06	運動会・・・ヒョットコ事件	54	25.02	むらさきの筑波山
4	20.07	アカンサスとアカンサスの学舎	55	25.03	筑波線(上)
5	20.09	一高オリンピックと中学校時代の体育的行事	56	25.04	筑波線(下)
6	20.10	修学旅行	57	25.05	校歌「沃野一望」
7	20.11	春の筑波登山と関西修学旅行	58	25.06	校歌に謳われた「沃野」(1)
8	20.12	四つ子のハイカラ講堂	59	25.07	校歌に謳われた「沃野」(2)
9	21.01	旧富山県立農学校本館「巖浄閣」	60	25.09	校歌に謳われた「沃野」(3)
10	21.02	第1回卒業証書授与式	61	25.10	校歌に謳われた「沃野」(4)
11	21.03	教職員4名で開校、さまよえる土浦分校	62	25.11	校歌に謳われた「筑波山」(1)
12	21.04	師弟相親しむ学校生活と進修会の発足	63	25.12	校歌に謳われた「筑波山」(2)
13	21.05	旧制中学校校歌明治40年代に続々誕生	64	26.01	校歌に謳われた「関八州」
14	21.06	半途退学者	65	26.02	霞ヶ浦(その 1)～流海～
15	21.07	発火演習	66	26.03	霞ヶ浦(その 2)～霞ヶ浦四十八津～
16	21.09	天然スレート屋根	67	26.04	霞ヶ浦(その 3)～帆曳き船～
17	21.10	霞ヶ浦を駆け抜けた土中生の青春	68	26.05	霞ヶ浦(その 4)～霞ヶ浦海軍航空隊～
18	21.11	ブラリひょうたん 高田係(中12)	69	26.06	霞ヶ浦(その 5)～霞ヶ浦海軍航空隊と土浦中学生～
19	21.12	強化拡大される軍事教練	70	26.07	霞ヶ浦(その 6)～ノビレ少将と愛犬チチナ～
20	22.01	ブラリひょうたん後篇	71	26.09	霞ヶ浦(その 7)～国際空港 霞ヶ浦飛行場～
21	22.02	旧開智学校、旧制松本高校	72	26.10	霞ヶ浦(その 8)～練習航空隊～
22	22.03	尾崎楠馬と小田原勇	73	26.11	霞ヶ浦(その 9)～戦時下の霞ヶ浦海軍航空隊～
23	22.04	戦後の土浦中学校	74	26.12	霞ヶ浦(その10)～土浦海軍航空隊(予科練)～
24	22.05	軍国主義教育の強化	75	27.01	霞ヶ浦(その11)～予科練の教育と日課～
25	22.06	正岡子規	76	27.02	霞ヶ浦(その12)～予科練の訓練～
26	22.07	分校時代の野球部	77	27.03	霞ヶ浦(その13)～予科練の休日～
27	22.09	土中生の夏休み(鎌倉紀行)	78	27.04	霞ヶ浦(その14)～海軍飛行予備学生～
28	22.10	明治期の通学	79	27.05	霞ヶ浦(その15)～予科練を業立って～
29	22.11	旧制中学から新制高校へ	80	27.06	霞ヶ浦(その16)～空への憧れ、滑空艇～
30	22.12	常名の天神山	81	27.07	霞ヶ浦(その17)～滑空艇から戦いの空へ～
31	23.01	金沢散策	82	27.09	霞ヶ浦(その18)～民宿「秀峰」の親父さん～
32	23.02	Acanthus回顧	83	27.10	霞ヶ浦(その19)～陸軍少年飛行兵；17才の飛行兵長～
33	23.03	明治の土中同窓会、東進会誕生、進修同窓会	84	27.11	振武特別攻撃隊長1～少年飛行生徒から飛行隊員、飛行学校教官～
34	23.04	関東大震災時の土中、東日本大震災の被害	85	27.12	振武特別攻撃隊長2～飛行学校教官から特攻隊長へ～
35	23.05	駒杵勤治	86	28.01	振武特別攻撃隊長3～第81振武特別攻撃隊出陣～
36	23.06	駒杵勤治	87	28.02	振武特別攻撃隊長4～出撃前夜～
37	23.07	駒杵勤治	88	28.03	振武特別攻撃隊長5～突入、戦死～
38	23.09	駒杵勤治	89	28.04	霞ヶ浦(その20)～6月10日阿見空襲1～
39	23.10	富山県農学校	90	28.05	霞ヶ浦(その21)～6月10日阿見空襲2～
40	23.11	明治44年在校生一覧から	91	28.06	陸軍特別大演習と土浦中学生1
41	23.12	明治44年在校生一覧から	92	28.07	陸軍特別大演習と土浦中学生2
42	24.01	明治44年在校生一覧から	93	28.09	陸軍特別大演習と土浦中学生3
43	24.02	結婚式・映画等撮影の利用	94	28.10	陸軍特別大演習と土浦中学生4
44	24.03	結婚式・映画等撮影の利用	95	28.11	徴兵令と学校教練
45	24.04	アンケートから	96	28.12	土浦中学の学校教練1
46	24.05	楠の大木	97	29.01	土浦中学の学校教練2
47	24.06	真鍋台の青春	98	29.02	土浦中学の学校教練3
48	24.07	運動会	99	29.03	土浦中学の学校教練4
49	24.09	水上運動会	100	29.04	戦時下の土浦中学生1～満州派遣軍への慰問の文～
50	24.10	端艇(ボート)の快(楽しさ)			